

農林水産大臣 坂本哲志 様

2024 年 月 日

このままでは米を作り続けられません

政府が米価を下支えし、需給に責任を持つ政策を要求します

21年、22年の稲作農家の平均所得は1万円で時給換算ではたった10円です。米農家に生産調整と低米価を押付ける「米政策」が、過剰と不足、価格の変動を招き、生産と流通を混乱させています。米を作っても赤字であり、異常気象の影響も加わって稲作からの撤退が進んでいます。このままでは地域から稲作が消えてしまいます。

農家経営と水田を守り、米の安定生産と消費者米価を安定させるため、国が以下の項目について緊急対策を講じていただくよう強く要望します。

記

- ◆不作や国際的な需給変動があっても、国民が安心して国内産米を食べ続けられるようにするために米の減産政策から増産に転換すること。国民の1年間の需要をまかなう規模の備蓄を制度化すること。
- ◆格差と貧困対策として消費者への食料支援を制度化すること。
- ◆水田機能を最大限活用し、主食用米・加工用米・備蓄米・飼料用米まで作付けを全面的に拡大すること。水田の畑地化や産地交付金カットを見直すこと。
- ◆米を再生産できる所得を確保できるようにするため、直接所得補償を実施すること。

(あなたの経営実態や要求などを記載して下さい)

住所

氏名

電話番号

<経営内容>

●稲作面積 _____ ヘクタール